

横断的 強化軸

本邦民間企業とのパートナーシップ を通じた取り組み:

イノベーション・DX推進において民間の力を活用するとともに、アフリカでの企業の活動活性化を図る



現状と課題

- 2019年のTICAD7ではビジネス促進が議論の中心となり、初めて民間企業が公式なパートナーと位置づけられた。日本政府からは、200億円を超える対アフリカ民間投資の実現に向けた表明がなされ、民間企業側からもアフリカ事業の積極的推進をコミットした。
- アフリカの社会課題の解決においては、DX推進等を通じたイノベーションの創出が求められており、民間企業とのパートナーシップは不可欠である。
- 日本企業のアフリカでの事業展開やアフリカ企業の育成を通じたアフリカの社会課題解決に貢献するとともに、現地スタートアップ・エコシステムの構築に係る支援を加速させる。

今後の取り組み方針

① 官民連携プラットフォームの形成・活用:

各種プラットフォームを通じて、アフリカにおける技術・製品ニーズの紹介、JICA事業・現地機関・企業とのマッチング等に取り組む。

例) アフリカビジネス協議会、
アフリカ健康構想、栄養改善事業推進プラットフォーム
開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム
アフリカきれいな街プラットフォーム
アフリカ農業イノベーションプラットフォーム 等

② 中小企業・SDGsビジネス支援事業の強化:

各種セミナー等を通じて、本邦民間企業のアフリカ事業への関心や理解促進を図り、案件拡充を目指す。またスタートアップの応募やDXに資する提案、途上国発イノベーションの提案を促す。

③ 民間企業が投資できる民間事業案件形成の戦略化:

基礎調査・マスタープラン調査等において本邦民間企業が投資できる民間事業組成のためのコンポーネントを含め、本邦民間企業が投資可能な候補案件の創出に取り組む。

④ ABEイニシアティブ3.0の継続:

アフリカ進出の懸け橋となる人材と本邦企業との関係を強化すべく、企業等インターンの拡充(継続)やABE生と企業が関係構築・交流できるオンラインネットワークの構築に取り組む。



貢献する SDGs



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



横断的 強化軸

本邦民間企業とのパートナーシップ を通じた取り組み:

イノベーション・DX推進において民間の力を活用するとともに、アフリカでの企業の活動活性化を図る



これまでのJICAの取り組み



中小企業・SDGsビジネス支援事業による日本企業のアフリカ展開(ケニア)。小学生がCastalia社の教材で学習している。(写真提供:Castalia)



中小企業・SDGsビジネス支援事業による日本企業のアフリカ展開(マラウイ)。電子マネーを用いた持続可能な給水システムの構築を目指し、現地調査をしている。(写真提供:鉦研工業株式会社)



開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム: 企業・NGO・国際機関・政府機関・メディア等多様な関係者が、児童労働を含むカカオ生産地の開発課題解決に向け意見を交わす。



真空機器装置や圧力容器等の金属製品を製造している日本企業でインターンシップを行うABEイニシアティブの留学生。



情報通信業で、映像・音声・文字情報制作等を行っている日本企業でインターンシップを行うABEイニシアティブの留学生。



ラミネーター・ラミネートフィルム等を製造している日本企業でインターンシップを行うABEイニシアティブの留学生。